

事務事業評価表 平成25年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 子育て環境の充実  
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **民間社会福祉施設整備費補助事業 (保育園)**

[0152]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成15年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 国の交付金又は補助を受けて施設建設を行った民間保育所
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 保育所の新築・増改築により定員の拡大、特別保育の実施が図られ、待機児童の解消、快適な保育環境の整備が促進される。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 江別市民間児童福祉施設等整備費補助要綱に定める社会福祉法人に対し建設費の一部及び償還金の補助を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	国の補助を受けて施設建設を行った民間保育所数	箇所	4	4	5	4
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	148,417	28,783	10,007	9,919
活動指標2						
成果指標1	市の補助を受けて待機児童の解消、快適な保育環境の整備が促進された民間保育園の数	箇所	4	4	5	4
成果指標2	拡大された定員数 (累積)	人	26	36	36	36
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	148,417	28,783	140,984	9,919
正職員人件費 (B)		千円	6,448	401	401	403
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>154,865</b>	<b>29,184</b>	<b>141,385</b>	<b>10,322</b>

費用内訳	
24年度	負担金 補助及び交付金 140,984千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	認可保育所に入所できない待機児童の解消と老朽化が進んだ民間保育所の施設機能の保持ならびに入所児童の処遇向上を目的に事業を開始した。現在は、就労形態の多様化・入所していない家庭への支援も求められている現状にあり、一時保育室、地域子育て支援スペース等の整備が望まれている。
--------	--	-------------	--

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・  
 根拠は？

施設整備をすることにより定員拡大・乳幼児保育併設・一時保育、子育て支援等、多様な保育ニーズに応えるとともに待機児童削減並びに快適な保育環境ができることは市の役割として妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・  
 根拠は？

多様な保育メニューによって子育てと仕事の両立に貢献できる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・  
 根拠は？

施設整備事業に伴い定員の拡大が図られ待機児童の解消に繋がっている。同事業により子育て支援センターの開設や一時預かり事業の実施など、保育体制の整備と児童福祉の向上が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・  
 根拠は？

これまで市内民間保育施設4園の施設整備が終了し、現在、昨年度民間移譲したみどり保育園の改修整備が進められており、今後も老朽化した施設の計画的な整備を実施していくことにより成果が向上する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
 ない

理由・  
 根拠は？

国及び道の保育施設整備にかかる補助事業を活用するとともに市の要綱に基づいた事業のため、コスト削減の余地はない。